

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

山口県地方独立行政法人山口県立病院機構 県立総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	30	対象	ド透し未訓ガ	救臨が感へ災地
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
-	36,764	非該当	7:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

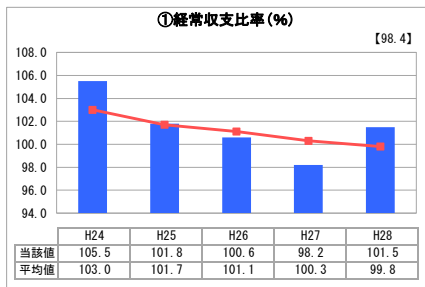
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
490	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	14	504
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
490	-	490

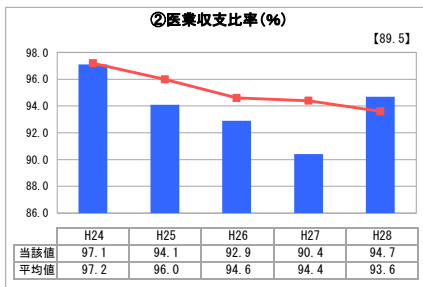
**グラフ凡例**

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

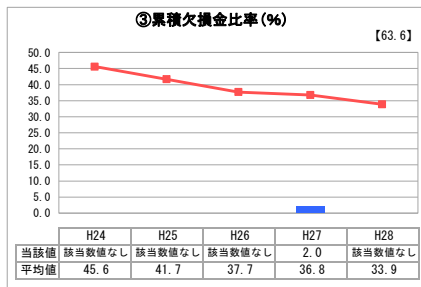
## 1. 経営の健全性・効率性



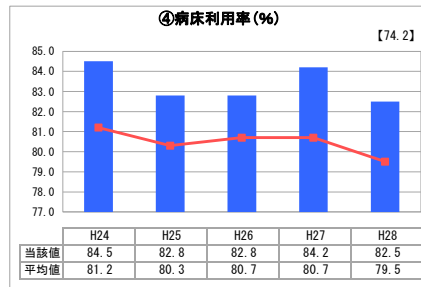
「経常損益」



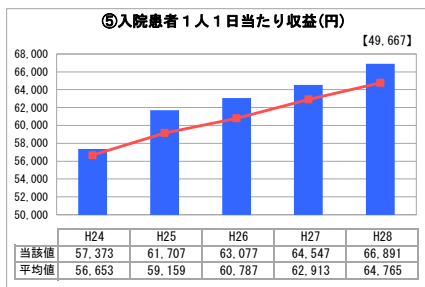
「医業損益」



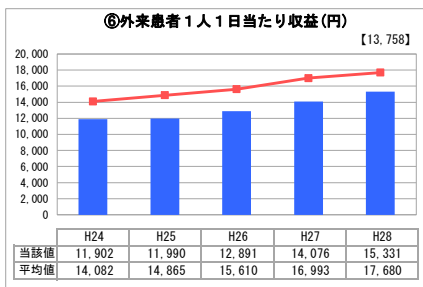
「累積欠損」



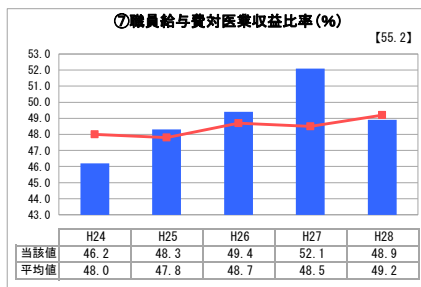
「施設の効率性」



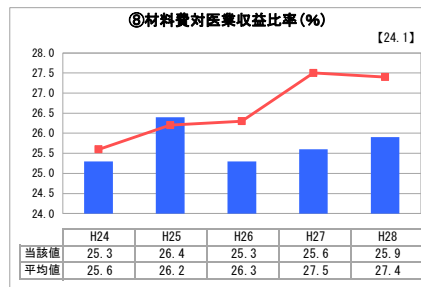
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

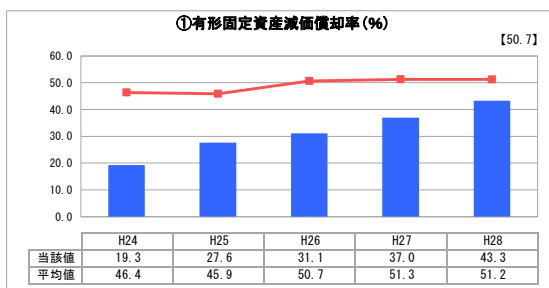


「費用の効率性①」

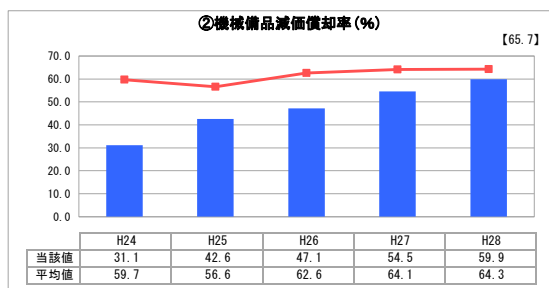


「費用の効率性②」

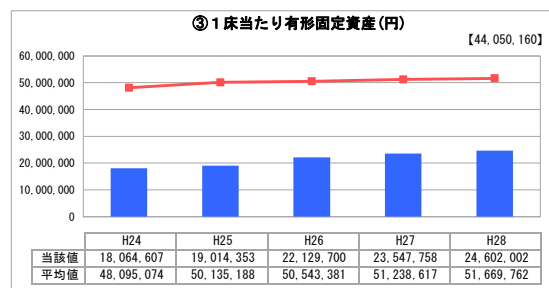
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I. 地域において担っている役割

○県民の健康と生命を守るため、県立病院として、救急医療、周産期医療、へき地医療、災害医療、感染症医療など、他の医療機関では対応困難な医療や不採算医療などに対し、積極的に取り組む。

○県の基幹病院として、高度専門医療を充実させるとともに、地域の医療機関等との連携体制を強化し、県民により質の高い医療を継続的に提供する。

## II. 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

○経常収支比率は、概ね100%以上を維持しており、経営の健全性は確保されている。なお、平成27年度は、退職金給付債務の一時的な増加により赤字となっている。

○医業収支比率は、平成27年度まで平均値を下回っていたが、平成28年度は医業収益の増加等により、平均値を上回っている。

○病床利用率は、平均値を大きく上回っており、経営の健全性は確保されている。

○入院患者1人1日当たり収益、外来患者1人1日当たり収益ともに、経年的に上昇している。

○職員給与費対医業収益比率、材料費対医業収益比率とも、概ね平均値を上回っている。今後も、収入の確保、費用の節減・適正化に努める。

### 2. 老朽化の状況について

○有形固定資産減価償却率、機械備品減価償却率及び1床当たり有形固定資産のいずれも、平均値を下回っている。引き続き、高度な診断、診療に必要な機器等を、計画的に整備する。

## 全体総括

○指標の分析からは、これまでのところ、経営は堅調に推移している。

○引き続き、第2期中期計画（平成27年度～平成30年度）に基づき、効率的で効果的な業務運営に努める。

○施設設備については、施設整備計画及び機器整備計画に基づき、計画的な整備に努める。なお、病院本館の老朽化・狭隘化に対し、県の基幹病院として、その機能が発揮できるための方策に関する検討を進める。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。